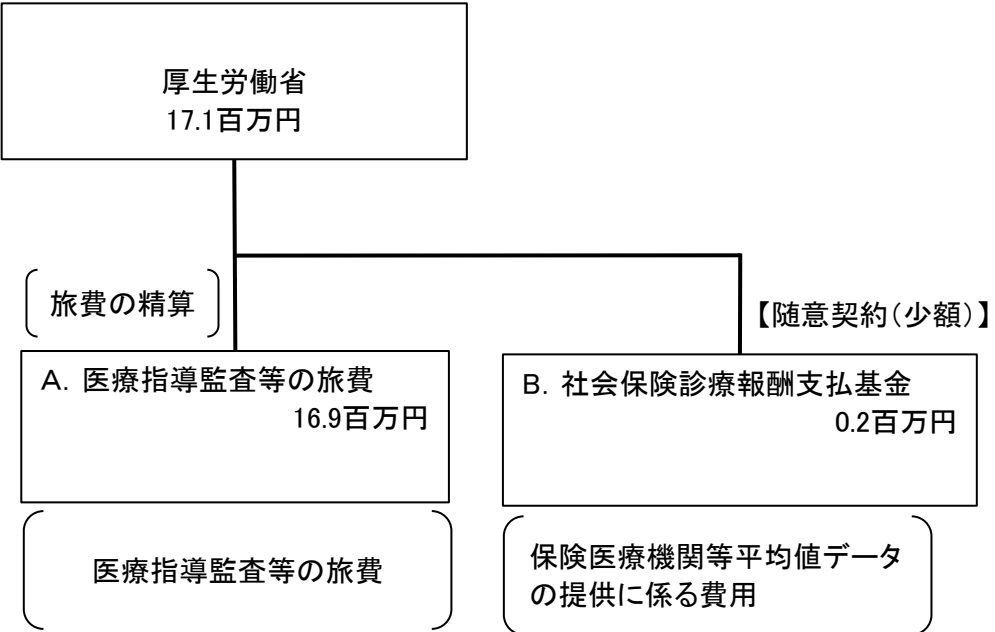


事業番号0265										
平成２９年度行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名	医療指導監査官の活動に要する経費				担当部局庁	保険局			作成責任者	
事業開始年度	昭和５４年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	医療課医療指導監査室			平子 哲夫	
会計区分	一般会計									
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	－				関係する計画、 通知等	－				
主要政策・施策	－				主要経費	社会保障				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	保険医療機関等に対して医療指導監査官による指導監査等の実施に係る旅費及び指導監査等に関する必要なマニュアル作成及び配布等を行うことで、保険診療の適正化を図る。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）	医療指導監査官の指導監査等に係る旅費、医療指導監査部門の職員が使用するマニュアル作成経費等。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	22	22	22	22	85			
		補正予算	－	－	－	－				
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－			
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－				
		予備費等	－	－	－	－				
	計		22	22	22	22	85			
	執行額		18	19	17					
	執行率（％）		82%	86%	77%					
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）		82%	86%	77%						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医療給付等調査旅費		18	24	概算要求での増額分は保険医療機関等の指導監査に係る支援業務を外部委託すること等による経費増である。					
	医療給付適正化業務庁費		4	61						
	計		22	85						
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
	－		成果実績	－	－	－	－	－	－	
			目標値	－	－	－	－	－		
			達成度	％	－	－	－	－	－	
根拠として用いた統計・データ名 （出典）	－									

定量的な成果目標の設定が困難な場合		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績						
		指導・監査等業務は、保険医療機関等に対し、保険診療の内容及び診療報酬請求の妥当性等について確認し、必要に応じて指導等を行い、保険診療の質的向上及び適正化を図ることであり、定量的な指標はもとより、間接的な指標を設定することもできない。			当事業において、指導監査業務の標準化・統一化のため、全国統一の実施要領を作成し、地方厚生(支)局に配布。 平成27、28年度は作成しているが、平成26年度は実施要領の改訂内容を勘案して作成していない。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績		代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標最終年度 －年度	
		実施要領の作成状況	実施要領の作成部数	実績	部	950	950	0	0	－	
				目標値	部	955	950	950	950	－	
達成度	%			94	100	0	－	－			
活動指標及び活動実績(アウトプット)		活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
		実施要領の作成状況	活動実績	部	950	950	0	950			
			当初見込み	部	955	950	950	950			
単位当たりコスト		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
		単位当たりコスト＝X／Y X＝実施要領の印刷製本等費用 Y＝実施要領の印刷部数		単位当たりコスト	円	－	1,728	－	3,192		
				計算式	X/Y	－	1,641,600/950	－	3,033,000/950		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
		施策	施策目標 I -9-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度	
			－	実績値	－	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	－	
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	アクション・プログラム	改革項目	分野：	社会保障	⑳(v)不適切な給付の防止の在り方について検討 等						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
			－	成果実績	－	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	－	
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 －年度	28年度	29年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
			－	成果実績	－	－	－	－	－	－	－
				目標値	－	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	－	
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
		当該事業により、保険医療機関等に対して医療指導監査官による指導監査等の実施に係る旅費及び指導監査等に関する必要なマニュアル作成及び配布等を行うことで、保険診療の適正化が見込める。									
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項 目				評 価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	保険診療の質的向上及び適正化等が期待できることから、国民からの要請が高い事業である。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	保険診療の質的向上及び適正化等に資する事業であることから、地域による偏りが生じることは望ましくなく、全国で統一に行うべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	保険診療の質的向上及び適正化等に資する、優先度の高い事業である。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	業者選定をできる事業については見積もりを取り寄せて、最も少額で適正な支出をしている。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	業者選定をできる事業については見積もりを取り寄せて、最も少額で適正な支出をしている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業目的のみの使途となっており、必要なものに限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	平成28年度においては、実施要領の作成が行われなかったため予算と執行に乖離が生じた。		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	必要最低限のコストで実施しており、コスト削減の工夫は行われている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	平成28年度においては、実施要領の作成が行われなかったため予算と執行に乖離が生じた。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-		
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	平成28年度における指導監査における旅費等は適切なものとなっているが、実施要領については改訂状況を勘案して作成していないことから予算と執行に乖離が生じている。					
	改善の方向性	引き続き妥当な水準の執行に努めるとともに、必要に応じて予算の見直しを行うこととしている。					
外部有識者の所見							
保険医療機関に対する医療指導監査に係る必要経費を措置するもの。現状維持としたい。 (増田 正志)							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	実施要項の改訂予定を勘案しつつ必要な予算額を確保し、引き続き適正な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	概算要求での増額分は保険医療機関等の指導監査に係る支援業務を外部委託すること等による経費増である。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	273	平成23年度	244	平成24年度	210		
平成25年度	243	平成26年度	255	平成27年度	265		
平成28年度	260						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.株式会社阪急阪神ビジネストラベル			B.社会保険診療報酬支払基金		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	医療指導監査等の旅費	16.9	雑役務費	保険医療機関等平均値データの提供	0.2
	計		16.9	計		0.2

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社阪急阪神ビ ジネストラベル	4120001126778	医療指導監査等の旅費	16.9	その他	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	社会保険診療報酬 支払基金	3010405002439	保険医療機関等平均値 データの提供	0.2	随意契約 (少額)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-